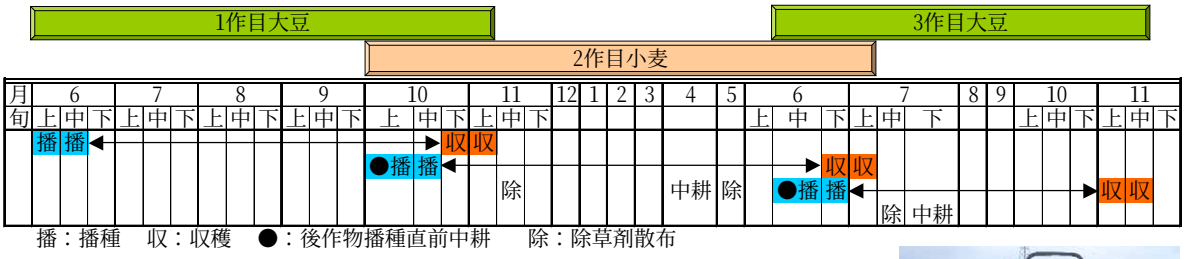
発行　平成１７年４月

研究レポート No.289　岩手県農業研究センター

県中南部における大豆･小麦立毛間播種２年３作の技術体系

県中南部における大豆・小麦立毛間播種２年３作の技術体系は図１です。水田団地における大豆・小麦立毛間播種栽培作付率40%、作付面積20ha(10ha×2ブロック)としてブロックローテーションを行う導入モデルでの試算所得は3,258千円/年となります。

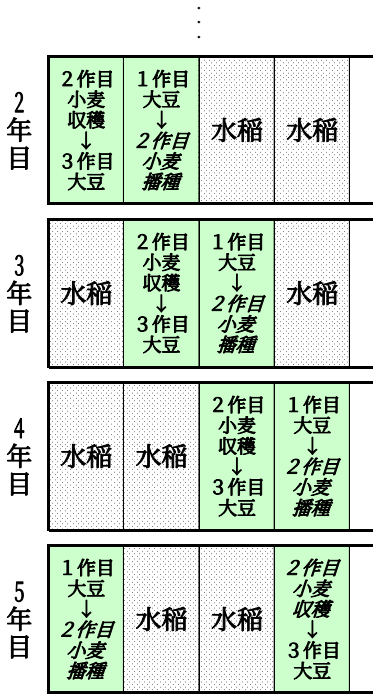


播：播種　収：収穫　●：後作物播種直前中耕　除：除草剤散布

1作目大豆	2作目小麦	3作目大豆
条間:75cm 品種:ｽｽﾞｶﾘ、ﾅﾝﾌﾞｼﾛﾒ 栽植密度:13,000本/10a 施肥量:N4kg/10a	条間:75cm 品種:ﾈﾊﾞﾘｺﾞｼ、ﾅﾝﾌﾞｺﾑｷﾞ 播種量:6.0kg/10a 施肥量:基肥N2kg/10a ＋追肥N2+2kg/10a	条間:75cm 品種:ｽｽﾞｶﾘ、ﾅﾝﾌﾞｼﾛﾒ 栽植密度:13,000本/10a 施肥量:N4kg/10a

立毛間播種機の外観

図１　県中南部での大豆・小麦立毛間播種栽培２年３作の体系



注)1ブロックの面積は10haである。

図２　立毛間播種を取り入れたブロックローテーション

表１　大豆･小麦立毛間播種栽培２年３作(20ha)の収支(単位：千円)

項目	1作目大豆	2作目小麦	3作目大豆	1年当たり収支	慣行大豆
収量(kg/10ha)	22,500	36,000	22,500		45,000
労働時間(時)	458.1	465.5	480.3	1,403.9	743
販売単価(円/kg)	232	138	232		232
農業機械費	1,840	1,430	1,179	4,450	3,275
労働費	634	645	665	1,945	1,029
物財費	3,073	2,837	2,976	8,887	7,092
共済掛金･出荷経費	652	106	652	1,411	1,304
費用合計	6,200	5,020	5,473	16,694	12,702
販売額	5,220	4,968	5,220	15,408	10,440
麦･大豆品質向上対策	866	866	866	2,600	2,600
所得(労働費含み)	520	1,459	1,278	**3,258**	**1,367**
純収益(労働費除く)	-114	814	613	1,313	337

注1)農業機械費の内、ﾄﾗｸﾀ･ﾛｰﾀﾘ･小麦乾燥調製施設は水稲作業との使用時間割合での配分であり、その他の水稲作業と共有する機械は水稲との面積割合での配分である。
注2)物財費は、種苗費、肥料費、農業薬剤費、光熱動力費、諸材料費、水利費、地代で構成される。
注3)労働時間単価は1,386円/時である。
注4)販売単価には交付金が含まれる。
注5)本収支には、産地づくり対策による交付金および共済無事戻し金は含まない。
注6)麦･大豆品質向上対策による助成金は、経営規模(20ha)に係る助成金を1作目から3作目に均等に配分して表記した。

担当研究室　農産部　生産工学研究室
〒024-0003　北上市成田 20-1　　TEL．0197-68-4415　FAX．0197-71-1081